

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、銀行業務は「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法
報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	2019年3月期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	20,093	6,322	26,415	1,181	27,597	△ 4	27,593
セグメント間の内部経常収益	511	55	567	491	1,059	△ 1,059	—
計	20,605	6,378	26,983	1,673	28,657	△ 1,064	27,593
セグメント利益	1,682	217	1,899	409	2,309	△ 464	1,844
セグメント資産	1,384,639	17,755	1,402,394	48,096	1,450,491	△ 54,826	1,395,664
セグメント負債	1,320,517	12,511	1,333,029	46,447	1,379,476	△ 50,904	1,328,572
その他の項目							
減価償却費	1,355	17	1,373	22	1,395	—	1,395
資金運用収益	15,201	1	15,202	134	15,337	△ 446	14,890
資金調達費用	351	105	457	7	464	△ 30	434
持分法投資利益	—	—	—	21	21	—	21
持分法適用会社への投資額	—	—	—	132	132	—	132
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	141	2	143	7	151	—	151

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△4百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益の調整額△464百万円は、セグメント間消去△416百万円及びのれんの償却△48百万円等です。
- (3) セグメント資産の調整額△54,826百万円は、セグメント間消去△54,923百万円及びのれんの未償却残高96百万円です。
- (4) セグメント負債の調整額△50,904百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△446百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△30百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	19,623	6,080	25,704	689	26,394	△ 60	26,334
セグメント間の内部経常収益	320	58	378	478	856	△ 856	—
計	19,943	6,139	26,082	1,167	27,250	△ 916	26,334
セグメント利益	1,561	269	1,831	98	1,929	△ 283	1,646
セグメント資産	1,323,829	18,223	1,342,052	43,126	1,385,179	△ 49,542	1,335,637
セグメント負債	1,262,353	11,877	1,274,231	41,694	1,315,926	△ 45,434	1,270,492
その他の項目							
減価償却費	1,269	7	1,277	22	1,300	—	1,300
資金運用収益	14,720	0	14,721	123	14,844	△ 263	14,580
資金調達費用	233	88	321	8	330	△ 29	301
持分法投資利益	—	—	—	20	20	—	20
持分法適用会社への投資額	—	—	—	134	134	—	134
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	222	21	244	9	253	—	253

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△60百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益の調整額△283百万円は、セグメント間消去△235百万円及びのれんの償却△48百万円等です。
- (3) セグメント資産の調整額△49,542百万円は、セグメント間消去△49,590百万円及びのれんの未償却残高48百万円です。
- (4) セグメント負債の調整額△45,434百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△263百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△29百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	14,816	33	14,850	14,455	31	14,487
資金運用収益	15,168	35	15,201	14,688	34	14,720
資金調達費用	351	2	353	233	2	233
役員取引等収支	1,451	2	1,454	1,379	0	1,379
役員取引等収益	2,900	4	2,905	3,025	1	3,026
役員取引等費用	1,448	1	1,450	1,646	0	1,646
その他業務収支	277	309	586	1,051	0	1,052
その他業務収益	1,122	309	1,431	2,289	0	2,290
その他業務費用	845	—	845	1,237	—	1,237
業務粗利益	16,545	345	16,891	16,886	32	16,919
業務粗利益率	1.25%	6.27%	1.28%	1.30%	0.37%	1.30%

- (注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。
2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（2019年3月期一百万円、2020年3月期0百万円）を控除して表示しております。
3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金負債の利息でございます。
4. 業務粗利益率＝業務粗利益／資金運用平均定均残高×100

業務純益

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
業務純益	2,551	3,107
実質業務純益	2,551	3,400
コア業務純益	2,538	3,461
コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）	2,110	3,063

業務純益

1. 業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）
業務収益＝資金運用収益＋役員取引等収益＋その他業務収益
業務費用＝資金調達費用＋役員取引等費用＋その他業務費用＋一般貸倒引当金繰入額＋経費（臨時的経費を除く）
2. 実質業務純益＝業務純益－（一般貸倒引当金繰入額）
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益